

県会議員 奥村のり子の  
読者ニュース

2015年6月28日 第178号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & F A X 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



一般質問

原発・介護など質す

6月18日6月議会の一般質問に立ちました。私は、原子力発電所の再稼動問題、南海和歌山市駅周辺の活性化、「改定」介護保険制度について質問しました。詳細は私のブログ「ぴよんぴよん日記」にアップしています。ぜひお読み頂ければ嬉しいです。原子力発電所の再稼動問題について知事の姿勢を質しました。福島原発事故5年目の現状と復興状況をどのように捉えているか、福井地裁の再稼動差し止めの判断について、原発建設を許さなかった和歌山県をどのように感じるか、これら3点について聞きました。

6月20日の紀伊民報1面に

質問の一部が掲載されました。県下に原発を作らせなかったことについては、「地域の活性化を逃した面がある」、一方では「総合評価として原発を作らなかつたのは適切であったし、今後もしようだろうと思う」と知事は答弁しました。

福島出身者の  
切実な声を紹介

原発事故から5年目、事故収束のめどもたつていません。事故当初、妊娠、出産された方の声を議場で紹介しました。途中胸がつかまってくるのを抑えながら「わが子が大人になった時、低線量被曝の影響がどのようにでるか、福島出身だと言うだけで偏見に悩む日がくるのだろうか」



大門みきし参院議員と和歌山駅前演説(6月14日)

戦後最悪の安倍内閣  
会期大幅延長で戦争めざす

安倍首相は通常国会を9月27日まで延長を強行。戦争法案を通すためです。戦争法案は議論するほどボロがでて、八割越す人々が「今国会での成立ダメ」と言うのに、過去最長の延長で違憲の法案を押し通すのは愚の骨頂。安倍晋三と言う人は、93年の初当選時から自民党の「歴史・検討委員会」に加わり「大東亜戦争は自存・自衛の正義の戦争」と靖国神社の教えそのままに主張。97年には「日本の前途と歴史教育の若手議員の会」を結成し安倍氏が事務局長となり、戦争を礼賛する歴史教科書を作った張本人。祖父の元首相岸信介氏のDNAを引き継ぐネオナチ的右翼です。自民党内のウルトラ右翼「日本会議」や「神道政治連盟」から、閣僚や党幹部を揃え侵略戦争礼賛一色の内閣です。

まさに戦後最悪の首相であり内閣です。3ヶ月を越す延長としたのは、7月末までに衆院を通過すれば参院で可決されなくても60日後には否決されたものとみなして衆院で三分の二で再可決すれば成立すると言う「60日ルール」を見越しているのです。通常国会の会期中で審議が尽くされなかつた法案は廃案にするのが会期制の原則です。サツサと衆院を通過させる目論見が崩れ追い込まれたのは与党です。さらに追い詰め必ず廃案にしましょう。(編集室)

子ども医療費助成を

6月8日、「子どもの医療費助成制度の拡充をめざす連絡会わかやま」のみなさんが、中学校卒業までの無料化を求める署名を市に提出しました。

連絡会は、医療関係をはじめ、さまざまな団体や子育て中のお母さん、お父さん達などで作られています。今年1月から署名活動に取り組み、4万6千624筆が集まり提出されました。

代表の小児科医・佐藤洋一先生は「短期間でこれほどの署名が集まったのは初めて。市民の要望の強さを感じた。なんとしても実現を」と

46,624筆の署名添えて市に要望しました

訴えました。副市長は「私も小学校一年生の子どもがいる。気持ち十分わかる。市長に伝えたい」とこたえました。

参加者に話を聞くと、「長男が骨折し、毎週レントゲンを撮っている。私も妊娠9ヶ月で、検診でもらう薬代も高い。せめて子ども達の通院費が無料になれば助かります」と話されました。

小さい子どもを抱っこしたお母さんや妊婦さんなど、22人の参加でした。市民のみなさんの強く切実な要望です。市は、この声に応えるためにしっかり取り組んで頂きたいと思えます。



左下に見えるたくさんの署名用紙を添えて要望する皆さん

OSの週刊口誌(主なもの)

- 6月26日 議会閉会、朝市駅、吉宗像前宣伝
- 27日 直川9条の会学習会、河西後援会宣伝
- 28日 会議
- 29日 地域訪問、庁内訪問
- 30日 デイサービスホランテニア、演鑑
- 7月1日 休み
- 2日 無料生活相談日

党市議会議員  
中村あさと

